

## 日本スケート連盟 2014-2015 ノービス課題

ISUではISU Communication No.1649 (Basic Novice, Advanced Noviceの課題)にて、ノービスのショートとフリーの課題を定めているが、日本ではノービスはフリーのみの競技として実施しているため、この年代の選手の育成を考え、以下のような独自の課題としている。

フリー・スケーティング

ノービス A 課題

演技時間:女子は 3 分間,男子は 3 分 30 秒間(±10 秒間)

構成内容:

a) 女子では最大 6 つのジャンプ要素、男子では最大7つのジャンプ要素。但し、上記ジャンプ要素の中にアクセル型ジャンプ、ルッツ・ジャンプ、フリップ・ジャンプの計 3 種のジャンプを、単独のジャンプあるいはコンビネーションまたはシークエンスの第一ジャンプとして、含まなければならない。(これらのジャンプは、ジャンプ・コンビネーション、またはジャンプ・シークエンスの中に含むことを妨げない)

また、アクセル型ジャンプはジャンプ・コンビネーション、ジャンプ・シークエンスを含め、計 2 回までとする。男女とも 3 つまでのジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シークエンスを含んでよい。ジャンプ・コンビネーションの中の 1 つは、3 個のジャンプを含むことができる。ジャンプ・シークエンスは構成するジャンプの数は自由であるが、最も難しい 2 つのジャンプのみが評価される。2 回転半あるいは 3 回転ジャンプは、2 種類のみを、ジャンプ・コンビネーションあるいはジャンプ・シークエンスの中で繰り返すことができる。

b) 最大 3 つの異なるスピンを含まなければならない。その内、1つはフライング・スピン(足換え無し、姿勢変更無し)(最小 6 回転)。1つは一姿勢のみのスピン。女子はレイバック姿勢(足換え無し、フライングからの入りは不可)(最小 6 回転)。男子は、キャメル姿勢またはシット姿勢(足換えの回数は任意、フライングからの入りは不可)(最小 6 回転)。1つはスピン・コンビネーション(足換えの回数は任意)(最小 10 回転)。但し、フライング・スピンと一姿勢のみのスピンは異なるベーシックポジションで行うこと。

c) 男女とも、ステップ・シークエンスを最大 1 つ。

※転倒の減点は0.5点とする。

ノービス B 課題

演技時間:女子は 2 分 30 秒間,男子は 3 分間(±10 秒間)

構成内容:

a) 女子では最大 5 つのジャンプ要素、男子では最大 6 つのジャンプ要素。但し、上記ジャンプ要素の中にアクセル型ジャンプ、ルッツ・ジャンプ、フリップ・ジャンプの計 3 種のジャンプを、単独のジャンプあるいはコンビネーションまたはシークエンスの第一ジャンプとして、含まなければならない。(これらのジャンプは、ジャンプ・コンビネーション、またはジャンプ・シークエンスの中に含むことを妨げない)

また、アクセル型ジャンプはジャンプ・コンビネーション、ジャンプ・シークエンスを含め、計 2 回までとする。

男女とも 2 つまでのジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シーケンスを含んでよい。ジャンプ・コンビネーションの中の 1 つは、3 個のジャンプを含むことができる。ジャンプ・シーケンスは構成するジャンプの数は自由であるが、最も難しい 2 つのジャンプのみが評価される。2 回転半あるいは 3 回転ジャンプは、2 種類のみを、ジャンプ・コンビネーションあるいはジャンプ・シーケンスの中で繰り返すことができる。

b) 最大 3 つの異なるスピンを含まなければならない。その内、1 つはフライング・スピン(足換え無し、姿勢変更無し)(最小 6 回転)。1 つは一姿勢のみのスピン。女子はレイバック姿勢(足換え無し、フライングからの入りは不可)(最小 6 回転)。男子は、キャメル姿勢またはシット姿勢(足換えの回数は任意、フライングからの入りは不可)(最小 6 回転)。1 つはスピン・コンビネーション(足換えの回数は任意)(最小 10 回転)。但し、フライング・スピンと一姿勢のみのスピンは異なるベーシックポジションで行うこと。

c) 男女共に、コレオグラフィック・シーケンスを最大1つ

但し、女子に関してはコレオグラフィック・シーケンスに、少なくとも1つの3秒以上の長さの支持無しのスパイラルを含むこと

※スパイラルに関してはスパイラルの定義を満たすこと。

※転倒の減点は0.5点とする。

附則 ISU Comm.1445 の発表を受け、異なるスピンの説明を明確にした。(2007年5月27日)

附則 規程 2008 でのジュニア FS の要素数の変更を受け、ノービス A の要素数を削減した。(2008年7月21日)

附則 ISU Comm.1397 のスピンの規定と矛盾しないように変更した。(2009年5月9日)

附則 ノービス世代の選手育成の観点から、ウェルバランス、および転倒の減点を変更した。(2010年5月8日)

~~附則 ノービスB女子のスパイラル・シーケンスをコレオスパイラルと認定する(2010年7月16日)~~

~~附則 ノービスB男子のステップ・シーケンスをコレオステップと認定する(2011年5月14日)~~

附則 ノービスB 男女のコレオグラフィック・シーケンスについて、ISUの変更に従って、変更する。

女子については、ノービスの育成を考慮して含まれるべきスパイラルの長さを「およそ3秒」のように規定し、GOEで考慮することとした。(2012年5月13日)

附則 ノービス世代の選手育成の観点から、ノービス B 女子のウェルバランスを変更した(2013年4月23日)

附則 ISU Comm.1874を受け、NvAのルールに関して、コンビネーションジャンプにおける制約の軽減の観点から、第1ジャンプの定義を変更した。

附則 ISU Comm.1874に伴い、補足部分の「キックアウトの定義」を削除し、「ジャンプのキックアウト時のウェルバランスについて」追記した。(2014年9月7日)

補足

ジャンプのキックアウト時におけるウェルバランスについて

規程のジャンプ枠内に実施された必須要素は、キックアウトされた場合においても、ウェルバランスの為に試みられたものとする。規程のジャンプ枠内において実施されていない必須要素は、試みられていないものとして扱う。

必須ジャンプが実施されていない、または試みられておらず不足する場合には、最後に実施されたジャンプ要素をキックアウトする。

もしその結果として、(1 度のみしか実施していない)他の種類の必須ジャンプがキックアウトになってしまう場合には、最後のジャンプ要素では無く、その 1 つ前のジャンプ要素をキックアウトとする。以下、同様